

自由金利型定期預金（M型）規定（スーパー定期）（自動継続以外）

【自由金利型定期預金（M型）規定（スーパー定期）】（自動継続以外）

1.（預金の支払時期）

自由金利型定期預金（M型）（以下「この預金」といいます。）は、証書表面記載（通帳式の場合は通帳記載）の満期日以後に利息とともに支払います。

2.（利息）

(1) この預金の利息は、預入日から満期日の前日までの日数および証書表面記載（通帳式の場合は通帳記載）の利率（以下「約定利率」といいます。）によって計算し、満期日以後にこの預金とともに支払います。ただし、預入日の2年後の応当日から預入日の5年後の応当日までの日を満期日としたこの預金の利息の支払いは次によります。

①預入日から満期日の1年前の応当日までの間に到来する預入日の1年ごとの応当日を「中間払日」とし、預入日または前回の中間払日からその中間払日の前日までの日数および証書表面記載（通帳式の場合は通帳記載）の中間払利率によって計算した中間払額（以下「中間払利息」といいます。）を、利息の一部として、各中間払日以後に、あらかじめ指定された方法により次のとおり支払います。なお、預入日の2年後の応当日を満期日としたこの預金（以下「自由金利型2年定期預金（M型）」といいます。）に限り中間払利息を定期預金とすることができます。

- A. 現金で受取る場合には、当金庫所定の支払請求書に届出の印章により記名押印して証書（通帳式の場合は通帳）とともに提出してください。
- B. 預金口座へ振替える場合には、中間払日に指定口座へ入金します。
- C. 定期預金とする場合には、中間払日にこの自由金利型2年定期預金（M型）と満期日を同一にする預入期間1年の自由金利型定期預金（M型）（以下「中間利息定期預金」といいます。）とし、その利率は、中間払日における当金庫所定の利率を適用します。
- ②中間払利息（中間払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）を差引いた利息の残額は満期日以後にこの預金とともに支払います。

(2) この預金の満期日以後の利息は、満期日から解約日または書替継続日の前日までの日数および解約日または書替継続日における普通預金の利率によって計算し、この預金とともに支払います。

(3) この預金を定期預金共通規定第3条第1項により満期日前に解約する場合および定期預金共通規定第3条第3項の規定により解約する場合には、その利息（以下「期限前解約利息」といいます。）は、預入日から解約日の前日までの日数および次の預入期間に応じた利率（小数点第3位以下は切捨てます。）によって計算し、この預金とともに支払います。ただし、中間払利息が支払われている場合には、その支払額（中間払日が複数ある場合は各中間払利息の合計額）と期限前解約利息との差額を清算します。

- ①預入日の1か月後の応当日から預入日の3年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合
- A 6か月未満 解約日における普通預金の利率
B 6か月以上1年未満 約定利率×50%
C 1年以上3年未満 約定利率×70%
- ②預入日の3年後の応当日から預入日の4年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合
- A 6か月未満 解約日における普通預金の利率
B 6か月以上1年未満 約定利率×40%
C 1年以上1年6か月未満 約定利率×50%
D 1年6か月以上2年未満 約定利率×60%
E 2年以上2年6か月未満 約定利率×70%
F 2年6か月以上4年未満 約定利率×90%
- ③預入日の4年後の応当日から預入日の5年後の応当日の前日までの日を満期日としたこの預金の場合
- A 6か月未満 解約日における普通預金の利率
B 6か月以上1年未満 約定利率×40%
C 1年以上1年6か月未満 約定利率×50%
D 1年6か月以上2年未満 約定利率×60%
E 2年以上2年6か月未満 約定利率×70%
F 2年6か月以上3年未満 約定利率×80%
G 3年以上5年未満 約定利率×90%
- ④預入日の5年後の応当日を満期日としたこの預金の場合
- A 6か月未満 解約日における普通預金の利率
B 6か月以上1年未満 約定利率×30%
C 1年以上1年6か月未満 約定利率×40%
D 1年6か月以上2年未満 約定利率×50%
E 2年以上2年6か月未 約定利率×60%

- F 2年6か月以上3年未満 約定利率×70%
G 3年以上4年未満 約定利率×80%
H 4年以上5年未満 約定利率×90%

(4) この預金の付利単位は1円とし、1年を365日として日割で計算します。

3.（中間利息定期預金）

- (1) 中間利息定期預金の利息については、上記2.の規定を準用します。
- (2) 中間利息定期預金については、原則として預金証書を発行しない（通帳式の場合は通帳に記載しない）こととし、次により取扱います。
- ①中間利息定期預金の内容については別途に連絡します。なお、印鑑はこの預金の届出印鑑を兼用します。
- ②中間利息定期預金をこの預金とともに解約または書替継続するときは、証書の受取欄に届出の印章により記名押印して（通帳式の場合は当金庫所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して通帳とともに）提出してください。
- ③中間利息定期預金のみを解約または書替継続するときは、当金庫所定の払戻請求書に届出の印章により記名押印して証書（通帳式の場合は通帳）とともに提出してください。
- この他、「定期預金共通規定」を参照してください。

以上
(2020年4月1日現在)